

柱1 必要感のある導入

柱2 子ども達をつなげ、「～したい」がある工夫

柱1 自己を見つめる振り返り

内容①自分事として捉えるような課題設定

内容②課題意識をもつために

- ◎自分事として捉えるための働き
 - ・自己理解
 - ・困り感の確認
 - ・「お悩み相談室」開設



内容①役割演技で自分ならどうかを意識する

内容②意欲を引き出す工夫

- ◎理想に近づくために
 - ・相手の考えを聞き受け止める
 - ・もっと～したいを実現するためのコミュニケーションスキルの習得
 - ・「お悩み相談員」配置



内容①生活へつなげる

内容②自己選択する

- ◎生活の中で活かす
 - ・スキルを振り返り活用する
 - ・習得したスキルの選択活用
 - ・「やってみよう！」



指導例

◎自分の気持ちを相手にきちんと伝えられない。

- ・伝えられなかったときの経験を思い出す。
- ・状況を整理し確認する。

◎自分の感情をコントロールできない。

- ・イライラしたことや、困ったことがあったことを思い出す。

コミュニケーション
人間関係の形成
心理的な安定
環境の把握

◎相手に気持ちをつたえたい。

- ・どうしていけばよいか対処法を考える。

◎自分の感情をコントロールできるようになりたい。

- ・イライラする場面を想定し、気持ちにはレベルがあることを知り、レベルによつての伝え方や対処法を知る。

コミュニケーション
人間関係の形成
心理的な安定

◎相手に気持ちを伝えてみよう。

- ・生活の中で実践してみる。

◎自分の感情をコントロールできる。

- ・生活の中で実践してみる。

ふりかえり確認する。

コミュニケーション
人間関係の形成